

2016年10月30日(日) 13:30-16:15

ジャンモネ CoE 九州 キックオフセミナー『BREXIT を読み解く』

平成28年10月30日(日)九州大学西新プラザにおいて、九州大学 EU センターが EU の中心的な教育助成プログラムであるエラスムス・プラスのもと、「Jean Monnet Centre of Excellence (ジャン・モネ・センター・オブ・エクセレンス)」事業に採択されたことを記念して、ジャンモネ CoE 九州 キックオフセミナー『BREXIT を読み解く』がおこなわれました。

九州大学 EU センター主催、九州 EU 研究会、福岡 EU 協会、佐賀県 EU 協会、アンスティチュ・フランセ九州の後援で行われました。一般市民はもちろん、学生や研究者、また国際交流団体や EU 関連団体などから約 70 名が参加しました。

はじめに開会挨拶として、岩田 健治(九州大学 EU センター長、九州大学経済学研究院)教授から、ジャンモネ CoE 九州のプロジェクトについて、その申請の経緯や主旨、今後 3 年間の活動内容などについて説明がありました。

記念講演として EU 研究の第一人者である遠藤 乾氏(北海道大学法学部・公共政策大学院教授)をお迎えし、英国 EU 離脱問題を中心に今後の課題や展望についてお話いただきました。遠藤氏は、10月20日発刊したばかりの自著『欧州複合危機のゆくえーイギリス離脱後の EU と世界ー』(中公新書)、特に第4章「イギリスの EU 離脱」、および第8章「イギリス離脱後の欧州と世界」に沿って講演しました。2016年6月23日の国民投票で、離脱派が過半数を占めたイギリスの EU 離脱問題は、世界的な経済の不安定化をよびおこし、イギリス国内の政治状況も混乱しています。72.2%という高い投票率の今回の選挙で、誰がどのように投票したのかについて、年齢や教育水準、地域別、支持政党別などの分析に基づき説明しました。民衆の力「デモクラシー」ならぬデマの力「デマクラシー」がはびこり、EU 離脱によりあたかもバラ色の世界が待っているかのような幻想が離脱派の主張となったと話し、このことは、イギリスにも、EU にもダメージであり、ひいては自由民主主義勢力が世界中で持つ重みに対するダメージでもあったと解説しました。

つづく討論では、遠藤氏の記念講演を受けて、岩田 健治氏(九州大学 EU センター長、九州大学経済学研究院教授)が、BREXIT について経済的側面から解説し、イギリスの輸出先は多くは EU 向けで、EU を脱退することはイギリスのみならずイギリスと交易をする EU 圏内の国々にも関税が生じる影響があることなど説明しました。

最後のプログラムとして、遠藤教授と岩田教授がパネラーをつとめ、八谷 まち子氏(九州大学 EU センターアドバイザー)がモデレーターとなり、会場から回収した質問票に基づき質疑応答がおこなわれました。集められた質問の中から代表していくつかの質問をとりあげ、なぜオプトアウトは効果をもたなかったのか、EU 離脱がアジアとロシアへもたらす影響、今後のイギリスと中国の関係性、などについて、遠藤、岩田両教授はひとつひとつ丁寧に解説し答えました。

最後に、九州大学理事・副学長の青木 玲子氏が閉会挨拶を行いました。青木氏は、九州大学がジャン・モネ・センター・オブ・エクセレンスという、100 を超える世界の主要な大学に設置されているグローバルなネットワークのひとつとして、EU 本部から選ばれたことは大変喜ばしいことであり、皆様に引き続きの支援と協力をお願いしたいと締めくくりました。

閉会后、参加者間の情報交換を目的とした懇談会が行われました。会議の熱気そのままに、教授陣に質問をなげかける学生や一般参加者の様子が大変印象的でした。キックオフセミナーは好評裡に幕を閉じました。

参加者アンケートの結果からは、どのような知識レベルの参加者にも大変わかりやすい説明であった、また解決すべき課題が多くあることを教えて頂き大変示唆に富んだ内容であった、という感想が聞かれました。非常に有意義な時間を過ごすことができた、今まさに知りたかったことなのでとても勉強になった、という声が多く聞かれ、時事に沿うテーマ設定に大変好評を得た非常に満足度の高いセミナーとなったことがうかがえました。



(記念講演をおこなう遠藤氏)



(討論者の岩田氏)



(質疑応答の様子)



(懇談会で意見交換をおこなう参加者)

講師陣略歴

【講師】

遠藤 乾（北海道大学法学部・公共政策大学院教授）

1966年東京生まれ、北大法学部教授（国際政治、EU論）。オックスフォード大学政治学博士。

ドロール委員長が作った欧州委員会内諮問機関「未来工房」で専門調査員として勤務した他、欧州大学院大学でグローバル上級研究員、パリ政治学院・国立政治大学にて客員教授、東京大学などで非常勤講師を歴任。他にも、読売新聞コラムニスト、外交フォーラム書評委員、コミュニティ・ラジオ三角山 FM「遠藤乾のフライデー・スピーカーズ」のパーソナリティも務める。

『統合の終焉—EUの実像と論理』（岩波書店、2013年）で第15回読売・吉野作造賞受賞。英文著作に The Presidency of the European Commission under Jacques Delors: The Politics of Shared Leadership (Macmillan/St Martin's, 1999) がある。主要編著に『ヨーロッパ統合史』『原典ヨーロッパ統合史—史料と解説』（名古屋大学出版会、2008年）、『グローバル・ガバナンスの最前線—現在と過去のあいだ』（東信堂、2008年）、共編著に『EUの規制力』（日本経済評論社、2012年）、『安全保障とは何か』（岩波書店、2014年）などがある。2016年10月20日刊行の近著に『欧州複合危機—苦悶するEU、揺れる世界』（中央公論新社、2016年）。

【討論】

岩田 健治（九州大学 EU センター長、九州大学経済学研究院教授）

1960 年生まれ。東北大学文学部卒業。同経済学研究科博士課程単位取得満期退学。同博士課程でロンドン大学 LSE に留学。博士（経済学）。

福岡大学商学部講師・助教授、九州大学経済学部助教授を経て、2004 年より現職。2015 年より九州大学 EU センター長。日本 EU 学会（理事・事務局長）、日本金融学会（理事・常任理事）、証券経済学会（理事）、日本学術会議連携会員、日本証券経済研究所客員研究員等を歴任。

専門は EU の金融・通貨統合。著書に『欧州の金融統合 EEC から域内市場完成まで』日本経済評論社、1996 年。編著に『ユーロと EU の金融システム』（H-E シャーラー、A エルアグラ、田中素香、D メイズ他著）日本経済評論社、2003 年。共著に『現代国際金融（テキスト国際金融 3）』（田中素香・岩田健治編著）有斐閣、2008 年、『現代ヨーロッパ経済 第 4 版』（田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治著）有斐閣、2014 年。

【司会】

八谷 まち子（九州大学 EU センターアドバイザー、佐賀県 EU 協会事務局長）

1986 年から 1993 年まで、駐日欧州委員会（EC）日本代表部（現、駐日欧州連合（EU）日本代表部）勤務、1998 年より九州大学法学研究院勤務、2015 年 9 月に退職（教授）。2011 年 4 月から 2016 年 3 月まで「EUIJ 九州」代表。

専門は、EU の制度および政策決定過程、トルコの EU 加盟。

ジャンモネ CoE 九州とは

グローバルブランド・ジャンモネセンター

EU の教育助成プログラム「エラスムス・プラス（Erasmus+）」の一つである Jean Monnet Centre of Excellence（ジャン・モネ CoE）は、EU をフィールドにそれぞれの分野で活躍する専門家を集結し、ヨーロッパ研究を発展させるとともに、国境を越え学術的な交流の促進とネットワークの構築を目指して人々にその知識を広く周知させることを目的としています。ジャンモネ CoE は、EU についての知識を、EU に関連した学習に励む学生や政策立案者や公務員のみならず、社会一般に広める役割を担っています。日本国内では、神戸大学が 2015 年度に採択され、世界では 100 有余のジャンモネ CoE センターが設立されており、グローバルブランドとなっています。

九州大学のジャンモネ CoE

九州大学の EU センターは、これまで、欧州委員会（European Commission）からの資金援助を得たコンソーシアムの代表校として EU インスティテュート・イン・ジャパン九州（EUIJ 九州）を運営し、EU に関する教育・研究のさらなる向上を目指してまいりました。これらの実績が認められ、ジャン・モネ CoE（申請プロジェクト名：Jean Monnet Centre of Excellence-Kyushu（JMCoE-Q））が採択され、2016 年 9 月 1 日から 2019 年 8 月 31 日までの 3 年間にわたり、教育、研究、アウトリーチ、学術交流などの事業を行い、EU 研究を再び世界に向けて発信し、九州大学のグローバルな展開を強化してまいります。

イベント詳細

6月23日の国民投票で、離脱派が過半数を占めたイギリスのEU離脱問題は、世界的な経済の不安定化をよびおこし、イギリス国内の政治状況も混乱しています。また、EUに対しても統合のあり方に重要な課題をつきつけるものです。

九州大学EUセンターがEUの中心的な教育助成プログラムであるエラスムス・プラスのもと、「Jean Monnet Centre of Excellence（ジャン・モネ・センター・オブ・エクセレンス）」事業に採択されたことを記念して開催する今回のキックオフセミナーでは、EU研究の第一人者である遠藤乾氏をお迎えし、英国EU離脱問題を中心に今後の課題や展望についてお話いただきます。

日時：平成28年10月30日（日）13:30～16:15（13:00開場）

場所：九州大学西新プラザ（福岡市早良区西新2-16-23）

言語：日本語（通訳なし）*Without interpretation

定員：80名

参加費：無料（※要事前申込み）、一般参加可

主催：九州大学EUセンター

後援：九州EU研究会、福岡EU協会、佐賀県EU協会、アンステイチュ・フランセ九州



6月23日の国民投票で、離脱派が過半数を占めたイギリスのEU離脱問題は、世界的な経済の不安定化をよびおこし、イギリス国内の政治状況も混乱しています。また、EUに対しても統合のあり方に重要な課題をつきつけるものです。九州大学EUセンターがEUの中心的な教育助成プログラムであるエラスムス・プラスのもと、「Jean Monnet Centre of Excellence（ジャン・モネ・センター・オブ・エクセレンス）」事業に採択されたことを記念して開催する今回のキックオフセミナーでは、EU研究の第一人者である遠藤乾氏をお迎えし、英国EU離脱問題を中心に今後の課題や展望についてお話いただきます。

2016.10.30 [日] 13:30 - 16:15 (13:00開場)

会場：九州大学西新プラザ（福岡市早良区西新2丁目16-23）

定員：80名 参加費：無料（要予約） 言語：日本語（通訳なし）

記念講演

『欧州複合危機のゆくえーイギリス離脱後のEUと世界ー』



【講師】遠藤 乾

（北海道大学法学部・公共政策大学院教授）

【討論】岩田 健治

（九州大学EUセンター長、九州大学経済学研究院教授）

【司会】八谷 まち子

（九州大学EUセンターアドバイザー）



【お申込み方法】

件名に「セミナー参加希望」と明記し、①お名前 ②メールアドレスか

お電話番号 ③ご所属 を記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。

E-mail: eucentre@jimu.kyushu-u.ac.jp FAX: 092-642-4435

【主催】九州大学EUセンター 【後援】九州EU研究会、福岡EU協会、佐賀県EU協会、アンステイチュ・フランセ九州

九州大学EUセンター Kyushu University EU Centre

福岡市東区箱崎6-10-1

TEL: 092-642-4433 FAX: 092-642-4435 E-mail: eucentre@jimu.kyushu-u.ac.jp

http://eu.kyushu-u.ac.jp

プログラム

■ 場所：九州大学西新プラザ2階大会議室

13:00 開場、受付開始

13:30 開会の辞

[司会] 八谷 まち子（九州大学EUセンターアドバイザー）

13:35 開会挨拶

岩田 健治（九州大学EUセンター長、九州大学経済学研究院教授）

13:45 記念講演

『欧州複合危機のゆくえーイギリス離脱後のEUと世界ー』
【講師】遠藤 乾（北海道大学法学部・公共政策大学院教授）

14:45 討 論

岩田 健治（九州大学EUセンター長、九州大学経済学研究院教授）

15:15 休 憩

15:35 質疑応答

16:05 閉会の辞

青木 玲子（九州大学理事、副学長）<16:15終了>

■ 場所 九州大学西新プラザ1階スペース

16:20 情報交換会 <17:50終了>